

一般質問

議案以外の市政全般に関する質問を一般質問といいます。21名の議員が行った一般質問のうち主な質問と答弁の要旨等を掲載しています。

自由民主党・仙台

菊地 崇良 議員

問 バス路線再編は、多数の厳しい市民意見を踏まえ全庁を挙げて地域・利用者の実情に応じた柔軟な見直しを図れ。
答 市民のご意見を分析し、その対応についてまちづくりの視点を含め関係部局で検討し、必要な修正を行う。

やしろ 美香 議員

問 市民生活のインフラとなったICT(情報通信技術)を今後のまちづくりに向けてどのように活用するのかが伺う。
答 ICTの積極的な活用は重要であり、コンビニでの各種証明書交付や教員研修での活用、災害時の円滑な避難誘導に係る仕組み等について検討したい。

斎藤 範夫 議員

問 青葉区保護課で数々の不祥事があったが、公にされず、懲戒処分も行われなかった。事実関係を再調査すべき。
答 これまでの対応に改善すべき点があると認識している。調査体制や対象範囲を検討の上、迅速に再検証し結果を報告したい。

鈴木 繁雄 議員

問 幼保一体化を安易に保育対策として進めるのではなく、幼児教育の観点からの十分な検討が必要ではないか。

市民フォーラム仙台

加藤 けんいち 議員

問 幼稚園教育を着実に継承できるよう幼稚園関係者等としっかりと協議していく。
答 子育ての基本である家庭保育をしている世帯への支援も市営住宅の管理運営の見直し

岡本 あき子 議員

問 居所不明児童の把握を徹底し、児童虐待の防止を。
答 不明児童数を調査中だが、関係機関や民生委員、町内会等との連携による把握と児童虐待の早期発見に努める。

木村 勝好 議員

問 バス路線の再編は、市民の声にできる限り応えるのが当然と考えるがいかがか。
答 街づくりと公共交通のあり方を踏まえ、ご要望に込められる内容を増やしたい。

自由民主党復興仙台

跡部 薫 議員

問 子ども・子育て支援新制度に向け、公教育を担う自治体の長としてビジョンを示し、幼児教育の推進と体制構築を図りながら幼児教育のさらなる充実を努めてまいりたい。

鈴木 勇治 議員

問 一時預かり事業は預かり保育実施中の幼稚園に委託を。消防団の通信体制の充実強化
答 太白区を窓口として地域の意見伺い、全庁を挙げた体制で一層の支援に努めたい。

渡辺 博 議員

問 市は県広域防災拠点が市民に不利益にならないよう対応を。廃止した公共施設の早期解体と土地の有効活用の促進
答 市は県広域防災拠点が市民に不利益にならないよう対応を。廃止した公共施設の早期解体と土地の有効活用の促進

公明党

佐々木 真由美 議員

問 非課税世帯の方々に対する水道料金等の減免申請は、窓口での申請に限定せず、郵送による受付も認めるべき。
答 更新申請について、郵送受付の検討を進めていく。

小田島 久美子 議員

問 市営住宅の定期募集のあり方。学校の暑さ対策の取り組み。
答 高年齢者や障がい者、子供連れの方に配慮した道路公園整備の点字ブロック上の安全対策

鈴木 広康 議員

問 組織横断的な子育て支援策により、「子育てしやすいまち日本一」を目指せ。
答 行政や地域の力等トータルでの取り組みが必要であり総合的な施策を図っていく。

日本共産党

嵯峨 サダ子 議員

問 バス路線の廃止や減便は、いったん白紙に戻し市民意見をさらに聞いた上で検討を。
答 今後、市民からの意見を精査・分析の上検討し、必要な修正について改めて示したい。

ふなやま 由美 議員

問 待機児童ゼロを明確に掲げ、保育基盤の整備強化を。目標とする保育総量に子育て支援新制度へ円滑に移行できるように支援の強化を。
答 保育の営利企業参入の問題点、保育士の処遇改善に係る国補助金の確保と市補助金創設

社民党

ひぐちのりこ 議員

問 単独調理校の学校給食費に会計制度を導入すべき。
答 会計の透明性向上等の観点から導入の必要性は高いと認識しており、今後、実施に向けた検討を進めたい。

会派別議案等賛否一覧表

議案等	会派名 ()内は所属議員数										
	自由民主党	みんなの党・みんなの仙台	日本共産党仙台市議団	公明党仙台市議団	自由民主党復興仙台	市民フォーラム仙台	自由民主党・仙台	自由民主党	みんなの党・みんなの仙台	日本共産党仙台市議団	社民党
補正予算案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例制定案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例改正案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他議案	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議員提案等	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○：議案等に対して賛成 ×：議案等に対して反対

自由民主党

大泉 鉄之助 議員

問 荒浜小学校の震災遺構整備は周辺地区の構想も含め、確たる理念のもと進めるべき。
答 地域全体のあり方の検討を深め、熟慮を重ねたい。

早坂 あつし 議員

問 本市におけるいじめ防止の対策について伺う。
答 児童への人権教育、啓発の充実を図るとともに、保護者や地域と連携し、いじめの早期発見・対応に努めたい。



平成26年第3回定例会は、9月5日(金)に開会の予定です。